



シルバー人材センターシンボルマーク

このマークは、全国のシルバー人材センターで働く高齢者が広く連携し、共に働き、共に助け合っていくことをめざして作成したものです。

デザインは、シルバー（Silver）の「S」とセンター（Center）の「C」で飛翔する鳥と、動き出す人の姿を表現しています。

シルバー安曇野

第44号

平成24年1月1日

発行

公益社団法人

安曇野シルバー人材センター

住所

安曇野市豊科5126-1

TEL 0263-72-5800

FAX 0263-73-6484



「おひさま」ロケ地

年頭にあたり

理事長 横山 幸久



新年あけましておめでとうございます。

会員の皆さまには、平成24年の新春をお健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。日頃は、シルバー人材センター事業にご支援とご理解を賜り、地域社会の担い手としてご活躍されておりますことに感謝と敬意を表します。

昨年は、景気回復の実感の乏しいまま迎え、東日本大震災の発生、国の事業仕分けで補助金の大幅な削減等で、厳しい現実になって明るい話の少ない1年でありましたが、公益社団法人へ移行、シルバー理念のもとシルバー憲章の制定をして、設立20年を迎えました。テレビ小説「おひさま」などの効果もあり、みんなで安全・適性就業に取り組み、12月末の事業実績は前年度並みの実績をあげることができました。

今年も「安全は全てに優先する」「怪我をしない・させない」を合言葉に、みんなで取り組み無事故で就業できることが、地域の皆さまから安全・安心と信頼を得られることになるので、更なる事故防止の徹底をはかって就業をお願いします。懸案であります、独自事業・企画提案型事業への取り組みに会員の皆さまのアイデアとお力添えを頂きたいのでお願いします。

新年にあたり、今年が良い年でありますように、ご家族の皆さま共々ご多幸とご健勝をお祈りしご挨拶とさせていただきます。

役員視察研修会に参加して

理事 山田 裕也

平成 23 年 9 月 9 日役員による視察研修会が、諏訪市シルバー人材センターにて開催された。

諏訪市シルバー人材センターは、安曇野シルバー人材センターと同様に、諏訪市だけの単独センターで、平成 23 年 3 月末現在の会員は男性 223 名、女性 77 名、合計 300 名、平均年齢は 70.5 歳、22 年度契約額約 1 億 6000 万円である。ちなみに当センターは、会員数 952 名、平均年齢 69.1 歳、年間契約額約 5 億 9000 万円である。契約額の内訳は、諏訪公共 30%、民間 70%、当安曇野は公共 18%、民間 82%である。

同じ単独センターであっても町村合併により 5 センターが統合された当安曇野シルバー人材センターとの違いは大きいと感じました。特に業務分担においては、諏訪は職域割であるのに対して、安曇野は地域割となっている。職域割であった方が業務の振り分けが効率的であり、公平性を保つことができると思う。安曇野の場合は統合時の町村割となっているため、業務量の多少により公平性に欠けるという問題点があります。今後この問題を解決していくために役職員はもちろん、全員が知恵を絞っていかなくてはならないと思います。

共通の悩みとしては、補助金の削減により職員の給料をはじめ、諸経費の捻出に頭を痛めていることです。ボランティア活動の増加、地域の支え合い活動、派遣事業者の参入、競争入札の増加等厳しい条件下にあります。いかに受注業務量を増やすかにこの問題の解決の道があるのではないかと思います。会員の皆さんお互いに請負事業に関する情報提供並びに発掘に心掛けていきましょう。

研修終了後、諏訪大社に参拝。会員のご健勝とご多幸を合わせて安全就業を祈願して参りました。



10月普及啓発促進月間・ボランティア活動実施

本年度は設立 20 周年の節目の年でもあり、日頃お世話になっている公共施設の草刈り・剪定等のボランティア活動をさせていただきました。

(5 地区合計 189 名の方が参加しました)



穂高地区 穂高会館



明科地区 明科公民館



堀金地区 社協堀金支所周辺



豊科地区 県立こども病院



三郷地区 三郷福祉センター



新年のご挨拶

安曇野市長 宮澤 宗弘

新年明けましておめでとうございます。皆様にとって、本年が健やかで希望に満ちた一年でありますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年は 3・11 の東日本大震災を始め、長野県北部地震や台風十二号の影響など、日本各地に甚大な被害を及ぼしました。被災地の皆様にお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧をご祈念申し上げます。

さて、安曇野シルバー人材センターも、昨年 4 月公益社団法人として新たにスタートされました。少子高齢化が進展する中、活力ある社会を維持していくには、高齢者の方々が元気に生きがいを持って活躍していただく

ことが必要であり、シルバー人材センターが担う役割はますます重要になってまいります。

厳しい経済情勢が続く中、地域に密着した各種の就業の機会の確保に積極的に努められ、貴センターの事業活動は、県下 21 のシルバー人材センターの中でも、常に事業成績が上位であるという立派な成果に繋がっており、その活動が地域に大きな貢献をされていることに、心より敬意を表する次第であります。

結びに、安曇野シルバー人材センターの益々の発展と、会員皆様のご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げます。さつといたします。



新春所感

副理事長 岩谷 昇

会員の皆さま新年明けましておめでとうございます。

昨年 3・11 の大災害以来、国を挙げて復興への永い道のりを共に支え合ってきたこととなり、長寿高齢化の渦中にあっても、私たちは福祉の受け手ではなくて担い手として社会に貢献していきたいと願っています。

年の初めにあたり今後の歩みを「七掛人生」を実践したいと決意しました。70歳は7×7、49歳、80歳は56歳と一挙に若返るのです。そのためにもまず足を鍛え、1日1万歩、気分も身だしなみも20数年若返るので、日常の生活スタイルも思い切り変えるのです。自家用車も自動車から自転車に切り替える。健康で一番大切な食に関しては無農薬、有機の自家栽培で生活習慣病を克服し、晴耕雨読



- ① 健康であること
- ② やりがいのある仕事を持つ
- ③ 趣味を持つ
- ④ 余暇と小さなサイフを持つ



- 理事 古幡 菊子
- 理事 山田 裕也
- 理事 寺嶋 春樹
- 理事 中野 哲也
- 理事 丸山 孝雄
- 理事 尾日向 洋
- 理事 鹿川 祥彰
- 理事 宮島 寿宏
- 理事 等々力素己
- 監事 大日方 泉
- 監事 宮澤 憲令
- 事務局長 赤澤 喜夫

- 1 臨時的・短期的・軽易な仕事であるか。
- 2 発注者の指揮命令を受けていないか。
- 3 社員と混同した就業をしていないか。
- 4 社員のときと同じ仕事をシルバ－会員として就業していないか。
- 5 危険有害な仕事をしていないか。
- 6 民業を圧迫した仕事をしていないか。
- 7 長期就業をしていないか。
- 8 警備業法、道路運送法等に違反していないか。

適性就業の見直しに着手します

当センターは公益社団法人に移行して9カ月経過しました。就業形態適正化の課題を抱える就業先があり、以前からの懸案事項としてシルバ－人材センター本来のものにしていく必要性があり、見直し作業に取り組んでおります。会員並びに発注者の皆さまのご協力をお願いします。

事務局だより

安全委員会だより

草刈り講習会開催

日時 7月21日(木)
午後1時30分～4時

場所 明科『せせらぎ』

講師 長野県農業大学校 研修部 竹内敦夫先生

内容 座学(せせらぎ) 実技 御宝田周辺

受講人数 70名

受講生の皆さんには修了証をお届けしました。今後の就業にお役立てください。



実習の講評

安全就業 3つの気

1. 体調不良は事故のもと、何事も**元気で**事故はなし
2. 油断、不注意事故のもと、何事も**本気で**事故はなし
3. 嫌々するのは事故のもと、何事も**やる気で**事故はなし

安全パトロール実施

恒例の安全パトロールが去る7月22日(金)全5地区で実施されました。例年2日に分けて行っておりましたが、今年はポイントを絞り1日にまとめました。

りんごの摘果作業・工場内軽作業3箇所、剪定・草取り作業の全6箇所です。公益社団法人となり、ますます適正就業の透明性が求められる事故内容によっては厳しいチェックが入ることになります。そのため、今年は工場内も確認いただき、範囲を拡大しました。ご指摘いただいた課題につきましては、逐次改善努力してまいります。

事故を防ぐには (自分の身は自分で守ることです)

☆ヒヤリ・ハット事例を見ても、実際の事故事例を見ても、約80%の事故は安全装備を使わなかったり、不注意や確認を怠った人為的ミス(ヒューマンエラー)によって起きています。

☆従って私たち一人一人が自らの意識と行動を変えなければ事故を防ぐことはできません。

☆結論として自分の身は自分で守らなければなりません。

安全・適正就業推進研修会

10月13日(木)、岡谷市「あいとぴあ」において、安全・適正就業推進研修会が開催され、標語の表彰、続いて「庭木剪定等」にお

平成24年度会費の納入方法について

平成24年4月の配分金(5月18日振込分)から会員の年会費・互助会費を徴収させていただきます。4月に就業されなかった方には、会費の請求書を送ります。尚、5月に各地区1回出張で集金します。皆さまのご理解ご協力をお願いいたします。

平成23年度で退会を希望される方は、3月末までに必ずご連絡をお願いいたします。

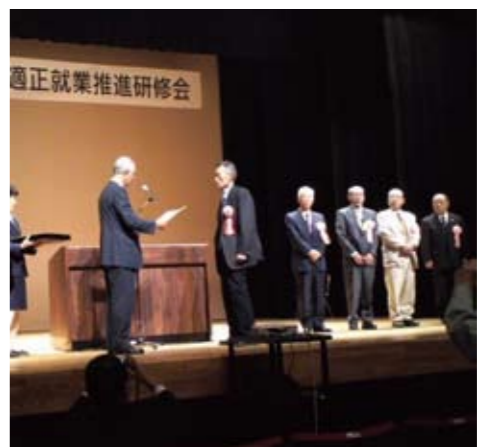
地区懇談会について

2月下旬から3月上旬に各地区で地区懇談会を開催予定です。地区ごとに通知を差し上げますので、是非ご参加をお願いします。

配分金の振込日

- 1月分は2月20日(月)
- 2月分は3月19日(月)
- 3月分は4月20日(金)
- 4月分は5月18日(金)
- 5月分は6月20日(水)
- 6月分は7月20日(金)

る安全就業について」の講演がありました。当シルバ－は4名の参加でした。



県シ連標語表彰作品

最優秀賞 塩尻地域SC 市川 学
「安全は 知識と意識の 積み重ね」

優秀賞 岡谷下諏訪広域SC 古畑 正文
「忘れない ヒヤリハットの一瞬を！」

佳作 中野広域SC 清水 富蔵
「安全に あってはいけない 想定外」

佳作 長野SC 樋口 周平
「事故を呼ぶ 過信慢心 思い込み」

佳作 北アルプス広域SC 吉沢 岑夫
「慣れたころ 慣れた作業に 事故が待つ」

当シルバ－でもこの研修会に向け19点の力作の応募をいただき、理事の方々による選考の結果、次の皆様が受賞されました。

配分金収入等に対する所得税の取り扱いについて

シルバ－人材センターで得た配分金収入等に対する所得税の取り扱いは以下のとおりです。

1. 配分金収入は、所得税法上『雑所得』に区分されます。雑所得の金額は原則として雑所得の総収入金額から必要経費を控除した額です。したがって、配分金収入に係る必要経費の額は、65万円以上ある場合、配分金収入から必要経費の全額を控除とします。
2. しかし、必要経費の額が65万円未満の場合は、『租税特別措置法』第27条の適用により、65万円を上限として控除します。(ただし、収入金額を限度とします。)
3. 公的年金を受給している会員は、配分金収入とは別に公的年金等控除を行えます。
4. 給与収入のある会員は、最低65万円(ただし収入金額を限度とします)の給与所得控除が受けられますが、その場合、配分金収入に係る控除額は、65万円から給与所得を控除した残額が限度です。
(詳しくは安曇野市市民税課 72-3111(代) または松本税務署 32-2790 へお問い合わせください。)

配分金の支払証明について

平成23年1月から12月までに振込になった配分金の支払証明書を1月中旬に圧着ハガキでご自宅へ郵送いたします。

交通事故にご注意を！

11月に入り、交通事故(もらい事故)等思わぬ事故が3件続けて発生してしまいました。新年早々

最優秀賞 古幡 菊子
安全でこぼれる笑顔がみんなの宝物

優秀賞 花村 清志
危険予知くばり目くばり怪我防止

優秀賞 赤澤 喜夫
ちよっと待て昨日の反省思い出せ

平成23年度安曇野シルバ－人材センター事故報告

(11月18日現在)

▽傷害事故／4件▽転倒事故／1件 検査入院1日▽自動車事故／2件 どちらも会員優先道路／2件むち打ち(軽度)内1件は入院治療▽蜂さされ／1件 手の甲(スズメ蜂)▽賠償事故／2件▽自動車窓ガラス全損／1件 草刈り作業中▽塀の破損／1件 伐採作業中伐採木が発注者宅の塀に倒れ破損 ※今年度はこれが最後の事故報告になりますようお願いいたします。

お願い

複数人用の新しい就業報告書に『ヒヤリハット体験記入欄』を設けました。どんな小さいことでも何か『ドキッ！ハッ！』としたことがあります。ありましたらご記入ください。貴重な体験として今後の安全就業改善の参考にさせていただきます。

会員のお悔やみ

西澤 嘉啓 様 三郷地区
平成23年10月31日
ご逝去を悼み、心よりご冥福をお祈りいたします。

事故・けがのない様、念には念を入れ、くれぐれも安全にはご注意ください。

希望に叶い感謝



穂高地区 斉藤 澄夫

シルバ－に登録し2年目の冬を迎えます。昨年の10月より、灯油の給

油事業の仕事をしていただいております。申込書を提出の際、現役時の資格、免状が活かせる仕事ができれば！と希望していましたら、昨春秋それに叶う仕事をご紹介いただきました。

私は現在、野菜作りを主とした農業に携わっています。冬は農閑期となりますので私には、うつつのの仕事です。色々な条件、希望等を考慮されてご紹介をいただき感謝しております。

仕事への心構えとして、お客様には常に感謝の気持ちで、安全第一に誠実な対応を心掛けたいと思っております。団塊の世代が一線を退き大挙して次のステップを迎える今、シルバ－人材センターの果たす役割はさらに重要かつ大きくなっていくと思います。職員皆さまのご活躍をご祈念申し上げます。

会員の声

人生もう一度花を咲かせましょう



三郷地区 嶽野 尚弘

数年前ラジオの信越放送を聞きながら運転をしておりました。聞き慣

れた音楽の中「武田徹」さんの番組で「人生もう一度花を咲かせましょう」のコーナーでした。何かなと思

ながら聞いていますと、長野県下のシルバ－人材センターの活動の紹介でした。70数歳の地区班長さんが仕事内容活動状況を発表されておりました。この放送を聞きながら私も地区の会に入会したいと思いました。

会社も定年となり私の知人もシルバ－人材センターに入会していると話聞き、さっそく入会の手続きをし登録させていただきました。5月中旬旬から製造会社にお世話になり、この道50年の大先輩からこの春専門学校を卒業し、就職した孫のような若

人に仕事を教えてもらい新鮮な「汗」をかいております。多くのシルバ－友達もできました。気力・体力の続くうちは「人生もう一度花を咲かせましょう」の気持ちで頑張ろうと思っております。

シニアワークプログラム 警備業務・救急法講習会を受講して

ある受講生より

定年を迎え、今後の生活考えつつも何かしらの社会貢献を模索していた。

東日本災害支援ボランティアに3度参加して、被災された方々の無念な気持ちを痛感しつつも、働けること、働ける場所があることのありがたみを強く感じていた。

ハローワークより、この講習会の紹介を受けたことを、今に至って感謝しております。

警備業務、救急法、伴に講師の方々のきめ細やかな説明、見やすいテキスト、また講習内容のスケジュールは理解しやすく、会場の雰囲気は良好にして親しみやすく、楽しく受講できたことを感謝しております。尚、講師の方々のご苦勞と、会場を用意された方々、受講された皆さまのご協力に深く感謝申し上げます。

これらの大切な経験は、自らの人生に役立てることはもとより、社会に対する知識や見聞が広がり、多種多様な仕事に対する理解感を増すことができると思います。

今後、機会あるたび、多くの方々に受講への価値観を語り、受講参加

編集後記

新年明けましておめでとうござい

ます。 昨年は安曇野シルバ－人材センターも「公益社団法人」として発足いたしました。

東日本震災は千年に一度ともいわれる未曾有の災害、相次ぐ豪雨によるなど自然の猛威を実感した年でした。また、ヨーロッパの金融危機と景気の上向かない中でしたが昨年並の実績を上げることができました。

会員の皆さまのご協力の賜物と感謝申し上げます。今後も会報発行には皆さまのご協力をお願いいたします。



調査広報部

古幡 菊子

岩谷 昇

中野 哲也

